

9-4 宮古島近海の海底地形について

Seafloor topography adjacent to Miyako-jima Island

海上保安庁
Japan Coast Guard

宮古島近海で令和 8 年 2 月下旬から発生している群発地震の震源域周辺の海底地形について、海上保安庁が保有する海底地形データをもとに特徴を述べる。

群発地震が発生している場所は、沖縄トラフ南部の八重山海底地溝の東端付近にあたる。八重山海底地溝は東－西又は東北東－西南西の走向の正断層が発達する活動的なリフト（八重山リフト）で、水深は約 2200m を超える。各機関から報告されている発震メカニズム解と断層の走向は概ね調和的である。また、震源が集中する南端付近には伊良部海丘と呼ばれる海底火山が存在する。

（参考）

●断層地形

当該海域には主に 2 つの走向を有する断層が報告されている¹⁾。①東－西又は東北東－西南西、②北北西－南南東又は北西－南東である。①東－西又は東北東－西南西のリニアメントは、宮古島沖の沖縄トラフ内に分布しており、沖縄トラフのリフティングに伴って形成された断層であると考えられる。一方で、②北北西－南南東又は北西－南東のリニアメントは宮古島やその周辺海域に分布しており、リフティングに伴い琉球弧がストレッチすることによって、弧を横断する方向に形成されたと考えられる²⁾。

●海底火山

伊良部海丘では玄武岩～玄武岩質安山岩が採取されている³⁾。また、熱水活動も確認されている⁴⁾。

（沿岸調査課海洋防災調査室）

Geodesy and Geophysics Office, Coastal Surveys Division

参考文献

- 1) 活断層研究会 (1991), *新編 日本の活断層*, 437pp.
- 2) Fabbri and Fournier (1999), *Tectonics*, **18**, 486–497.
- 3) Fujii et al. (2018), *Earth Planets Space*, **70**, 1–14.
- 4) 松本ほか (2001), *JAMSTEC 深海研究*, **19**, 95–107.